

三井記念美術館
Mitsui Memorial Museum

特別展 超絶技巧！ 蕎麦屋の

明治工芸から

【七宝】

並河靖之
《蝶に花の丸唐草文花瓶》
清水三年坂美術館蔵



画：山口晃



【牙彫】 安藤緑山
《胡瓜》

Amazing
Craftsmanship!
From Meiji Kogei to
Contemporary Art

2017
9/16 SAT.
▼
12/3 SUN.



【金工】

高橋賢悟 (1982年生まれ)
《origin as a human》
2015年／アルミニウム

現代アートへ

【開館時間】 10:00～17:00 (入館は16:30まで)

★ ナイトミュージアム 会期中毎週金曜日および9月30日(土)は19:00まで開館 (入館は18:30まで)

【休館日】 月曜日、10月10日(火)〈但し、9月18日(月・祝)、10月9日(月・祝)は開館〉

【主催】 三井記念美術館、朝日新聞社 【協力】 清水三年坂美術館

【監修】 山下裕二(明治学院大学教授) 【企画協力】 広瀬麻美(浅野研究所)

【木彫】

大竹亮峯 (1989年生まれ)
《飛翔》 2017年／榧、竹、和紙



【漆工】

墨とみせて
漆で造形してある。
古びさせうが見事



遊ばは
本気で

柴田是真
《古墨形印籠》

角が欠けひび割れた古い墨の
ようにみえるが、実は漆で作ら
れた印籠である。
ひびや欠けも故意につけられた
もの。是真得意のトリックアート。



【牙彫】



あいかめうずの
見事な質感
表現
好い
色は何で
つけてるんだろ...

安藤緑山
《胡瓜》

どこから見ても本物
の胡瓜のようだが、
象牙を彫って彩色
をほどこした牙彫。

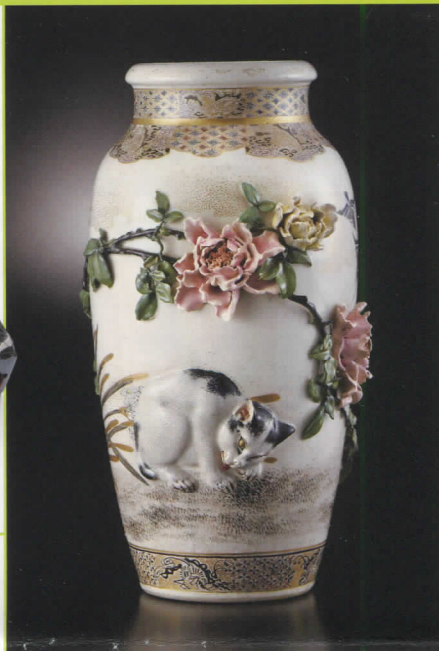


3次元的な配置も見事
活けてある
なあ...

【陶磁】

初代宮川香山
《猫ニ花細工花瓶》
眞葛ミュージアム蔵

見事に咲き誇る高浮彫の薔
薇の下、毛並みを整える猫。
その細い毛並みから、複雑な
耳の中、そして薄い舌までもが
精緻に表されている。



【陶磁】

稲崎栄利子 (1972年生まれ)
《Arcadia》 2016年／陶土、磁土、ガラス

数ミリの輪や針状の小さな陶土のパーツを土台に繰り返し
貼り付けることで成形。その後数回の焼成を経て出来
上がる。驚異的な細部の集積による陶芸作品。



え...海から拾っ
てきたんじゃ
ないの!!
体になるいよ、
やめようよ...

【七宝】



春田幸彦 (1969年生まれ)
《有線七宝
錦蛇革鞆置物「反逆」》
2017年／有線七宝、銀、銅

銅の器胎に銀の植線を貼り、ガラス
質の釉薬で蛇のうろこを表す。明治
工芸以来の有線七宝の技法を受
け継ぎ、現代的に進化させている。



へびの
うろこ
こころが
有線七宝
持手は銅
シルバーは銀

参加
現代アーティスト
(五十音順)

- 青山 悟 [刺繍]
- 稲崎栄利子 [陶磁]
- 白井良平 [ガラス]
- 大竹亮峯 [木彫]
- 加藤巍山 [木彫]
- 佐野 藍 [石彫]
- 更谷富造 [漆工]
- 鈴木祥太 [金工]
- 高橋賢悟 [金工]
- 橋本雅也 [牙彫]
- 春田幸彦 [七宝]
- 本郷真也 [金工]
- 前原冬樹 [木彫]
- 満田晴穂 [自在]
- 山口英紀 [水墨]

【七宝】

並河靖之
《紫陽花図花瓶》

清水三年坂美術館蔵

靖之が得意とした艶やかな黒色釉を背景に、色づき始めた紫陽花と小禽を表す。濃淡をつけた青や紫の微妙なグラデーション、金属線の色や太さを変えて表現された葉や枝など、細やかな配慮が光る。



近年、明治工芸に対する注目度が飛躍的に高まってきました。七宝、金工、牙彫、木彫、漆工、刺繍絵画など、おもに輸出用としてつくられた工芸作品が海外から里帰りし、多くの人が瞳目するようになったのです。2014年から翌年にかけて、三井記念美術館を皮切りに全国6会場を巡回した「超絶技巧！明治工芸の粋」展は、そんな明治工芸再評価の機運を盛り上げるための画期的な展覧会でした。大好評を博したその企画の第2弾として、明治工芸と現代アートの超絶技巧が対決する展覧会を開催します。明治工芸を産み出した工人たちのDNAを受け継ぎ、超絶技巧プラスαの機知に富んだ現代作家の作品も多数展示します。

【木彫】

旭玉山
《银杏鳩図文庫》

清水三年坂美術館蔵

白桐材に染色・黒柿・黄楊・鉛・錫などを象嵌して、银杏の枝にとまる鳩を表す。主題や構図に、国宝・徽宗(款)「桃鳩図」の影響がみられる。大正5年(1916)の第五十四回美術展覧会で一等賞金牌を受賞した。



※会期中、一部展示替えを行います

満田晴穂(1980年生まれ)
《自在蛇骨格》

2017年／銅、真鍮、青銅

生きた蛇をかたどった自在置物は江戸時代以来多数つくられてきた。これは斬新な発想による、骨格が自在に動くもの。



【自在】

前原冬樹(1962年生まれ)
《一刻：皿に秋刀魚》

2014年／桜、油彩

驚くなかれ、皿も秋刀魚も一体の一本造り。油絵の具による彩色がいつものリアリティーを生みだしている。

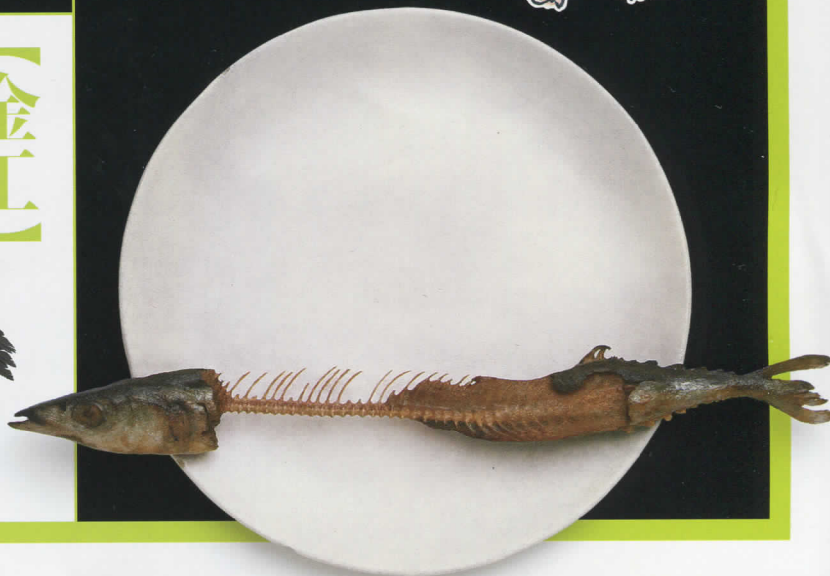
【木彫】



【金工】

本郷真也(1984年生まれ)
《暁》 2017年／鉄、赤銅(目)

鉄板をバーナーで熱し、ひたすら叩く。鉄と格闘して命を与える、鍛金による見事な造形。



トークイベント

「日本美術応援団、
明治と現代の
超絶技巧を応援する！」

【出演】井浦 新（俳優、クリエイター）、
山下裕二（本展監修者、明治学院大学教授）
【日時】2017年9月30日（土）19:00～20:30
【会場】野村コンファレンスプラザ日本橋・5階大ホール
（東京都中央区日本橋室町2-4-3日本橋室町野村ビル[YUITO]5階）
【定員】200名 【聴講料】2,500円（無料観覧券1枚付き）

【申込方法】

官製復役はがきの「往信用裏面」に①「驚異の超絶技巧！トークイベント希望」②郵便番号③住所④氏名（ふりがな）⑤電話番号を、「返信用表面」に①郵便番号②住所③氏名をご記入のうえ、下記の申込先までお送りください。8月31日（木）必着。抽選の結果は返信はがきの発送をもって代えさせていただきます。当選はがきは当日必ずご持参ください。なお、当日のお席も抽選にて決定させていただきますので、お申込みははがき1枚につき1名様のみ有効とさせていただきます。※最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

【申込先】〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-1-1 三井本館7階
三井記念美術館「驚異の超絶技巧！トークイベント」係

土曜講座

参加アーティストによる連続トークセッション

◎2017年10月7日（土）14:00～15:30
【出演】前原冬樹、春田幸彦、橋本雅也
【司会】広瀬麻美（本展企画者）
◎2017年10月21日（土）14:00～15:30
【出演】加藤巍山、本郷真也 【司会】山下裕二（本展監修者）
◎2017年11月18日（土）14:00～15:30
【出演】更谷富造、大竹亮峯 【司会】小林祐子（本展担当学芸員）
【会場】三井記念美術館 レクチャールーム
【定員】各回50名 【聴講料】2,000円（無料観覧券1枚付き）

【申込方法】

A 美術館受付（チケットカウンター）で聴講料を添えてお申し込みください。
B FAXでの申込 当館運営部（FAX番号：03-5255-5818）へ
①希望日②氏名③住所④電話番号⑤FAX番号をご記入のうえ、お送りください。受講可能な方には、当館より別途聴講料のお支払方法についてご案内いたします。※各講座とも申込先着順にて受付、定員になり次第締切りいたします。※最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

入館料	団体（20名以上）	（※ナイトミュージアム（毎週金曜日17:00から））
一般	1,300円	1,100円
大学・高校生	800円	700円
中学生以下	無料	無料

※70歳以上の方は1,000円（要証明）。
※障害者手帳をご提示いただいたお客様、およびその介護者（1名）は無料です。
※リピーター割引：会期中一般券、学生券の半券のご提示で、2回目以降は団体料金となります。



三井記念美術館
Mitsui Memorial Museum

【お問い合わせ】TEL:03-5777-8600（ハローダイヤル）
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-1-1 三井本館7階
For inquiries:03-5777-8600 (Japanese only)
Address: Mitsui Main Building, 7th Floor,
Nihonbashi Muromachi 2-1-1, Chuo-ku, Tokyo 103-0022



【交通のご案内】

- ・東京メトロ銀座線「三越前」駅A7出口徒歩1分
- ・東京メトロ半蔵門線「三越前」駅徒歩3分A7出口へ
- ・東京メトロ銀座線・東西線「日本橋」駅B9出口徒歩4分
- ・都営浅草線「日本橋」駅徒歩6分B9出口へ
- ・JR「東京」駅（日本橋口）徒歩7分、「神田」駅徒歩6分
- ・JR総武快速線「新日本橋」駅徒歩4分
- ・メトロリンク日本橋（無料巡回バス）乗降所「三井記念美術館」徒歩1分

【Access】

- ・Tokyo Metro Subway Ginza Line: Exit A7, 1 min walk from Mitsukoshimae Station
- ・Tokyo Metro Subway Hanzomon Line: Exit A7, 3 min walk from Mitsukoshimae Station
- ・Tokyo Metro Subway Ginza-Tozai Lines: 4 min walk from Nihombashi station, Exit B9
- ・Toei Subway Asakusa Line: 6 min walk from Nihombashi station, Exit B9
- ・JR Tokyo Station: 7 min walk from Nihonbashiguchi exit JR Kanda Station: 6 min walk
- ・JR Sobu Line Rapid Service: 4 min walk from Shin-nihombashi Station
- ・Metro Link Nihonbashi (Free bus service): Mitsui Memorial Museum bus stop

三井記念美術館入口（三井本館7階）

日本橋三井タワー 1階アトリウムから入り、左奥の階段を上って三井本館の専用エレベーターをご利用ください。
※当館には専用の駐車場はございません。公共交通機関等をご利用ください。



【漆工】

更谷富造（1949年生まれ）
《遊景》
石、漆

国宝 雪松図と花鳥

—美術館でバードウォッチング—

2017年12月9日（土）～2018年2月4日（日）

国宝 雪松図屏風の新春公開に合わせ、館蔵品の中から、今回は花鳥、なかでも「鳥」に焦点をあわせた展覧会です。鳥に関連した茶道具や工芸品、花や鳥が描かれた屏風や掛軸を展示しますが、「鳥の三井さん」として知られた新町三井家の高遠氏が収集した渡辺始興筆「鳥類写真図巻」や同じく始興筆の花鳥図で新寄贈作品等を展示します。美術館でのバードウォッチングをお楽しみください。なお、国宝 雪松図は1月4日から展示します。

◎音声ガイドでわかりやすく解説いたします。（有料）

秋の三館 美をめぐる 2017

三井記念美術館・五島美術館・根津美術館では、今秋、下記の三展覧会会期中、いずれかの展覧会をご覧いただいた場合、他の展覧会の入館料が割引となります。また、三館すべての展覧会をご覧になった方に特典があります。

- ◎三井記念美術館 [9月16日～12月3日]
特別展「驚異の超絶技巧！—明治工芸から現代アートへ—」
- ◎五島美術館 [10月21日～12月3日]
特別展「光彩の巧み —瑠璃・玻璃・七宝—」
- ◎根津美術館 [11月3日～12月17日]
特別展「鑿（たがね）の華 —光村コレクションの刀装具—」

※詳細は各館のホームページをご覧ください。
※お電話にてお問い合わせください。
※他の割引との併用はできません。

三館相互割引

次回展覧会のご案内